

7 出 願 変 更

推薦入学においては、出願変更は認めない。

8 面 接 等

面接等は、令和 8 年(2026年) 2 月10 日(火)に行うこと。ただし、これにより難しい場合は、令和 8 年(2026年) 2 月12 日(木)に引き続き行うことができる。

(1) 面接等の会場

面接等の会場は、原則として、出願先の高等学校とする。

(2) 面 接

面接は、高等学校長の定めるところにより実施する。

なお、高等学校長は、面接の時間等について、あらかじめ中学校長に通知すること。

(3) 英語の聞き取りテスト等

全日制の課程において、高等学校長は、学科ごとに出願者の全員について、英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技及び作文から一又は複数を行うことができる。

なお、高等学校長は、英語の聞き取りテスト等を行う場合は、その時間等について、あらかじめ中学校長に通知すること。

【留意事項】

- 1 体育に関する学科の出願者で、実技に関わり怪我・健康に不安がある場合や、医師の指示等がある場合で、実技を行うことができないときは、中学校長を経由して出願先の高等学校長に報告すること(成人の出願者は、直接出願先の高等学校長に報告すること)。
- 2 面接等の実施日の登校時間は、あらかじめ中学校長を経由して出願者に連絡しておくこと。
- 3 特別の事情により所定の日時に面接等を受けることができない者は、中学校長を経由して出願先の高等学校長にその旨を申し出て、面接等の期日の延期を願い出ることができる。
- 4 高等学校長は、面接等終了後、受検票を回収すること。
- 5 面接等の期日の延期を行ってもなお受検できない出願者がいる場合、当該高等学校長は、再出願について学校教育局学力向上推進課長と協議すること。

9 選 抜 の 方 法

高等学校長は、「入学者選抜委員会」などで、次に示す資料を総合的に評価し、合格内定者を決定すること。

(1) 出願者から提出された自己推薦書、農業自営予定者説明書や漁業自営予定者説明書

(2) 中学校長から提出された個人調査書

個人調査書の内容のうち「出欠の記録」については、選抜の資料として使用しないものとする。

(3) 面接の結果

(4) 英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技及び作文から一又は複数を実施した場合は、その結果

10 合格内定者の通知及び入学の確約

(1) 高等学校長は、合格内定者に、令和 8 年(2026年) 2 月18 日(水)までに中学校長を経由して合格内定通知書(別記様式 5)を交付するとともに、出願者一覧表等を用いて、中学校長に対し、当該中学校からの出願者についての合格内定者及び合格内定とならなかった者の氏名を通知すること。

【留意事項】

上記書類を中学校長に郵送する場合には、一般書留、簡易書留又はレターパックプラスとすること。

- (2) 中学校長は、合格内定通知書の交付を受けた者に対し、入学確約書（別記様式 6）を提出させ、その入学確約書を令和 8 年（2026 年）2 月 19 日（木）から 2 月 24 日（火）午後 4 時までの間に出席先高等学校長に送付すること。

【留意事項】

中学校長は、合格内定通知を受けた者に対し、入学確約書の提出の意思の有無を確認した上、提出する意思のない者については、その氏名及び理由を令和 8 年（2026 年）2 月 24 日（火）午後 4 時までに電話で高等学校長に報告すること。

11 合格内定者数の発表

合格内定者数の発表の期日等は、次のとおりとする。

区 分	期 日	時 間	場 所
全 道（発表）	2 月 18 日（水）	10 : 00	学力向上推進課ウェブページ

12 再 出 願

- (1) 合格内定とならなかった者については、当初出願した課程・学科と関わりなく、一般要項の「4 出願できる学科」により、再出願を認める。ただし、面接を欠席した者及び合格内定後入学確約書を提出しなかった者は再出願を認めない。
- (2) 再出願の受付期間及び受付時間は、次のとおりとする。

受 付 期 間	受 付 時 間
令和 8 年（2026 年）2 月 19 日（木）～ 令和 8 年（2026 年）2 月 24 日（火） （日曜日、土曜日及び休日を除く。）	9 : 00～16 : 30 （24 日は 16 : 00 までとする。）

- (3) 出願者の手続

再出願しようとする者は、再出願願（別記様式 9）を中学校長を経由して、当初出願した高等学校長に提出すること。

- (4) 高等学校長の手続

ア 再出願承認書

推薦入学の出願を受け付けた高等学校長は、中学校長から再出願願の提出があった場合、出願者に対し、再出願承認書（別記様式 10）を交付すること。

イ 再出願通知書及び出願書類

推薦入学の出願を受け付けた高等学校長は、再出願先の高等学校長に対し、令和 8 年（2026 年）2 月 27 日（金）までに再出願通知書（別記様式 11）、再出願願の写し及び出願者の出願書類（自己推薦書、農業自営予定者説明書及び漁業自営予定者説明書を除く。）を送付すること。

なお、推薦入学の出願を受け付けた高等学校長は、速やかに再出願先の高等学校長に対し、再出願の状況を電話等により連絡すること。

ウ 受検票

再出願先の高等学校長は、新たに受検票を作成し、令和8年(2026年)2月27日(金)までに出願者に交付すること。

【留意事項】

- 1 再出願の際の入学検定料の取扱いについては、「道立高等学校推薦入学者選抜に係る入学検定料の取扱いについて」(令和3年(2021年)11月25日付け教高第2150号教育長通知)(184ページ)を参照すること。
- 2 再出願に係る出願書類の取扱いは、一般要項の「8 出願変更」の留意事項に定める手続に準ずること。

(5) 再出願後の出願状況の発表の期日等は、次のとおりとする。

区 分	期 日	時 間	場 所
全 道 (発表)	3月2日(月)	11:00	学力向上推進課ウェブページ

13 合 格 発 表

高等学校長は、令和8年(2026年)3月17日(火)午前10時に合格者の受検番号を発表(当該高等学校のウェブページに掲載)するとともに、本人に通知すること。

【留意事項】

高等学校長は、合格者の発表後速やかに、中学校長に対し、当該中学校からの受検者のうち合格者についてその受検番号及び氏名を通知すること。

なお、郵送する場合には、一般書留、簡易書留又はレターパックプラスとすること。

14 北海道教育委員会への報告

番号	報 告 事 項	報告月日	高校 → 教育局		教育局 → 学力向上推進課		報告内容等
			時間	方法	時間	方法	
1	英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技及び作文の実施	11月6日(木)	この日まで	N.S.	11月13日(木)まで	N.S.	推薦要項の別記様式7
2	出願状況	1月23日(金)	10:00まで	電 話 又は N.S.	13:00まで	同上	一般要項の別記様式21
3	面接等の終了状況	2月10日(火)又は2月12日(木)	終了後直ちに	同上	管内全学校の報告確認後直ちに	同上	終了時刻、面接の状況等
4	推薦入学面接等欠席・延期者の状況	2月12日(木)	16:00まで	同上	17:00まで	同上	推薦要項の別記様式8
5	推薦入学合格内定者数	2月17日(火)	10:00まで	同上	12:00まで	同上	推薦要項の別記様式8
6	入学確約書を提出しなかった者の数	2月26日(木)	10:00まで	同上	13:00まで	同上	推薦要項の別記様式8

※ N.S. は、入学者選抜報告システムのことである。

15 そ の 他

(1) この要項に定めるもののほか、実施について必要な事項は、別に定める。

- (2) 出願者が作成する書類(ただし、入学願書・写真台紙及び受検票は除く。)については、学校教育局学力向上推進課のウェブページから様式をダウンロードした上で、必要事項を入力又は記入し作成すること。
- (3) 特別な配慮を必要とする生徒が出願しようとする場合は、在籍中学校長は出願しようとする高等学校長にその事情を説明し、当該高等学校長は学校教育局学力向上推進課長と協議すること。
- (4) この要項により難しい場合は、学校教育局学力向上推進課長と協議すること。

【留意事項】

再出願における、当初の出願先の高等学校長から再出願先高等学校長への出願書類の送付に関し、郵送を必要とする場合は、郵送料は出願者の負担とする。

別記様式 1 (日本産業規格 A 4 縦型)

※受検番号

自己推薦書 (全日制課程受検者用)

令和 年 月 日

北海道 高等学校長 様

在籍中学校名

出願者署名

私は、貴校の全日制的課程の

科へ、次の理由により自己推薦します。

1 入学を志望する理由や抱負について

(この学校に入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことなどについて、この学校のスクール・ポリシーを踏まえて記入してください。)

2 中学校の各教科(選択教科を含む。)や総合的な学習の時間における学習について

(中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入してください。)

3 中学校在学中における学校内外の諸活動について

(中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動等を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入してください。)

(注) 1 出願者が記入、作成してください。なお、「出願者署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよいですが、欄の大きさ等を変更しないでください。また、文字のフォントはMS明朝、大きさは10.5ポイントを基本としますが、大きさについては出願者の任意とします。

2 ※印の欄は記入しないでください。

別記様式 2 (日本産業規格 A 4 縦型)

農業自営予定者説明書

令和 年 月 日

北海道 高等学校長 様

出願者署名

保護者等署名

出願者が農業自営予定者であることについては、次のとおりです。

- 1 出願者及び保護者等の現住所
- 2 出願者と保護者等の続柄
- 3 出願課程・学科
- 4 出願者が農業自営予定者であることの説明（保護者等が記入）

- (注) 1 「出願者署名」及び「保護者等署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよいが、欄の大きさ等を変更しないこと。また、文字のフォントはMS明朝、大きさは10.5ポイントを基本とするが、大きさについては出願者の任意とする。
- 2 「農業自営予定者であることの説明」は、できるだけ詳細に記入すること。

別記様式 3 (日本産業規格 A 4 縦型)

漁業自営予定者説明書

令和 年 月 日

北海道 高等学校長 様

出 願 者 署 名

保護者等署名

出願者が漁業自営予定者であることについては、次のとおりです。

- 1 出願者及び保護者等の現住所
- 2 出願者と保護者等の続柄
- 3 出願課程・学科
- 4 出願者が漁業自営予定者であることの説明（保護者等が記入）

- (注) 1 「出願者署名」及び「保護者等署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよいが、欄の大きさ等を変更しないこと。また、文字のフォントはMS明朝、大きさは10.5ポイントを基本とするが、大きさについては出願者の任意とする。
- 2 「漁業自営予定者であることの説明」は、できるだけ詳細に記入すること。

別記様式 4 (日本産業規格 A 4 縦型)

※受検番号

自己推薦書（定時制課程受検者用）

北海道

高等学校長 様

令和 年 月 日

在籍中学校

又は職場名

出願者署名

私は、貴校の定時制の課程の 科へ、次の理由により自己推薦します。

【自己推薦する理由】

- 1 入学を希望する理由と、入学後、特に力を入れたいこと（スクール・ポリシーを踏まえて記入すること）

[illegible]

- ## 2 高校生活で伸ばしたい自分の長所

[illegible]

- 3 自己PR（学級活動、生徒会活動、部活動、ボランティア活動の実績、資格取得への取組等）

[illegible]

(注) 出願者が具体的に文章で記入してください(※印の欄は記入しないでください。)

別記様式 5 (日本産業規格 A 4 縦型)

合格内定通知書

令和 年 月 日

中学校名

受検番号 科 番

氏 名 様

北海道 高等学校長名 印

あなたは、令和 8 年度（2026年度）道立高等学校推薦入学者選抜において、本校
制の課程の 科の合格者に内定したので通知します。

別記様式 6 (日本産業規格 A 4 縦型)

(中学校長経由)	
入 学 確 約 書	
令和 年 月 日	
北海道	高等学校長 様
出 願 者 署 名	
保 護 者 等 署 名	
このたび、令和 8 年度 (2026年度) 道立高等学校推薦入学者選抜において、貴校 制の課程の 科の合格者に内定した旨通知を 受けました。 については、貴校に入学することを、ここに確約します。	

- (注) 1 中学校に在学している者は、(中学校長経由) に中学校名を記入し、中学校長経由で提出すること。
- 2 保護者等署名の欄は、出願者が成人に達しているときは記入を要しないこと。
- 3 中学校には、義務教育学校の後期課程を含むものとする。
- 4 「出願者署名」及び「保護者等署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよい。

別記様式 7（日本産業規格 A 4 縦型）

英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技及び作文の実施
高等学校

小学科名			
英語の聞き取りテスト	実施の有無		
	開始予定時刻～終了予定時刻		
英語による問答	実施の有無		
	形式	個人	
		集団（人）	
	時間（分）		
	担当教員数（人）		
実 技	実施の有無		
	内容		
	開始予定時刻～終了予定時刻		
作 文	実施の有無		
	字数		
	テーマ選択の有無		
	時間（分）		

- 記入要領
- 1 「実施の有無」及び「テーマ選択の有無」は、「有」又は「無」を記入すること。
 - 2 英語による問答の「形式」については、個人面接の場合は「個人」の欄に○を記入すること。集団面接の場合は、「集団（人）」の欄に面接を行う 1 グループ当たりの人数を記入すること。
 - 3 実技における「内容」については、例えば体育科の場合、「体力・運動能力に関する実技テスト」のように記入すること。
 - 4 作文における「字数」については、例えば400字から600字である場合、「400～600」のように記入すること。

別記様式8 (日本産業規格A4縦型)

推薦・連携型入学者選抜に係る状況

高等学校			
課程			
学科			
募集人員			
推薦枠			
出願者数	推薦入学者選抜		
		道外からの出願	
	連携型入学者選抜		
内定者数	推薦入学者選抜		
		道外からの出願	
	連携型入学者選抜		
備考	面接を受けなかった者の数	推薦入学者選抜	
		道外からの出願	
		連携型入学者選抜	
	面接を延期した者の数	推薦入学者選抜	
		道外からの出願	
		連携型入学者選抜	
	確約書を提出しなかった者の数	推薦入学者選抜	
		道外からの出願	
		連携型入学者選抜	
	備考に係る理由		

(注) 1 推薦入学者選抜及び連携型入学者選抜の欄については、該当する箇所を○で囲むこと。
2 「道外からの出願」の欄については、「道立高等学校への道外からの出願に係る入学者選抜実施要項」により出願した者について、それぞれ該当する数を記入することとし、該当する高等学校のみ報告すること。
3 「道外からの出願」に該当する数は内数とする。
4 「推薦枠」の欄については、次により記入すること。
(1) 全日制の農業及び水産に関する学科… 募集人員の50～90%の範囲において高等学校長が定めた数
(2) 全日制の普通教育を主とする学科… 募集人員の10～40%の範囲において高等学校長が定めた数
(3) 全日制の上記以外の学科… 募集人員の30～50%の範囲において高等学校長が定めた数
(4) 連携型推薦入学者選抜… (2)に同じ。ただし、合格内定者数の報告及びそれ以降においては、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうちの10～40%程度の範囲において高等学校長が定めた数。なお、小数点以下は切捨てとする。
(5) 定時制の各学科… 募集人員の30%の数

別記様式 9 (日本産業規格 A 4 縦型)

再出願願

令和 年 月 日

北海道 高等学校長 様

ふりがな
出願者署名

保護者等署名

私は、貴高等学校に出願しましたが、次により再出願したいので、承認してください。

記

事 項	再 出 願 先		推 薦 入 学 出 願 先	
高 等 学 校				
課 程				
学 科	第 1 志望	科	第 1 志望	第 2 志望
	第 2 志望	科	科	科
	第 3 志望	科		
住所	出 願 者			
	保 護 者 等			
全日制の課程の普通教育を主とする学科へ就学するときの区分	1 通学区域規則第 2 条による就学 2 通学区域規則第 3 条第 1 号による就学 3 通学区域規則第 3 条第 2 号による就学 4 通学区域規則第 3 条第 3 号による就学 5 通学区域規則第 4 条第 1 項第 1 号による就学 6 通学区域規則第 4 条第 1 項第 2 号による就学 7 通学区域規則第 4 条第 1 項第 3 号による就学 8 () 高等学校通学区域規則による就学			

上記の願い出があったので、提出します。

中学校長名

印

(注) 1 「学科」の欄については、志望により第 3 志望まで記入すること。
2 「全日制の課程の普通教育を主とする学科へ就学するときの区分」の欄については、該当する番号を○で囲むこと。
3 「全日制の課程の普通教育を主とする学科へ就学するときの区分」の欄の 8 の () 内には、道立高等学校通学区域規則と異なる通学区域規則を定めている市町村立高等学校の通学区域規則名となるよう記入すること。
4 中学校長名には、中学校名も併記すること。
5 「出願者署名」及び「保護者等署名」の欄以外についてはパソコンにより入力し、印刷してもよい。

別記様式10 (日本産業規格 A 4 縦型)

再 出 願 承 認 書			
出願者氏名			
令和 年 月 日	付けで願い出のあった、北海道	高等学校	課程
科に再出願することを承認します。			
令和 年 月 日			
高等学校長名			印

別記様式11 (日本産業規格 A 4 縦型)

再 出 願 通 知 書		
令和 年 月 日		
北海道	高等学校長 様	
高等学校長名		印
本校に出願した次の者から、貴校に再出願をしたい旨の願い出があり、これを承認したので通知します。		
記		
ふ り が な 出願者氏名	当初出願の課程・学科	再出願の課程・学科